会　　議　　録

会議の名称	平成３０年度　第２回小川町地域公共交通活性化協議会			
開催日時	平成３０年１１月１５日（木） 開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午前１１時３０分			
開催場所	リリックおがわ　２階会議室			
出席者	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	尾崎　晴男	副会長	高窪　剛輔
	委員	矢島　富男	会長	柳　　政男
	委員	山口　典夫	委員	髙田　裕之
	委員	長南　克幸	委員	小熊　和久
	委員	堀米　康史	委員	田端　健二
	委員	神宮　一雄	委員	山口　勝士
	委員	内田　　清	委員	海野　四郎
	委員	小川　新一	委員	安野　育男
会議の議題	（１）路線バスの維持・充実に関する検討～実態調査について～ （２）デマンドタクシーの利用状況報告			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	－			
傍聴人の数	１５名			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別紙のとおり			
事務局	都市政策課 都市政策担当			
議事の確定	確定年月日	平成３１年　２月１２日		
	記名 押印	役職名 会長　　尾崎　春男　　㊞		

発言者	発言の要旨
司会	**委員交代に伴う監査委員の選出** 今回委員の交代がございましたので、ご紹介させていただきます。第10号委員の小川町商工会・会長が松岡良治様に代わられました。本日は欠席ですが、よろしくお願いいたします。また、小久保前商工会・会長が協議会の監査委員をされておりました関係で、あらためて監査委員の選出を行いたいと存じます。なお、監査委員につきましては、協議会設置規約第12条第2項「協議会の監査委員は、委員の中から会長が指名し、協議会の会計監査を行う」となっております。いかがいたしましょうか。
会長	私の方からご指名申し上げるとのことだが、本日松岡委員欠席ではあるが事前に事務局が連絡して内諾を得ているとのことで、できれば松岡様にお願いできればと思うがいかがか。
各委員	異議なし。
会長	では、監査委員を松岡様にお願いしたい。
司会	ありがとうございました。 それでは、松岡様に監査委員としてお世話になります。 本日は欠席ですので、事務局から報告させていただき、ご了承いただくようご説明申し上げたいと存じます。
山口（勝）委員	**（1）路線バスの維持・充実に関する検討～実態調査について～** 分科会より、バスの維持・充実を検討する具体的な案を出してほしいと事務局に対して強く要望し、資料にあるように整理をしてもらった。住民の実態やイメージに沿った取り組みにする必要があり、アンケート調査結果は１つの検討材料になるのではないかと分科会では議論された。 東秩父路線やときがわ路線に関しては、各町村が中心となって取り組んでおり、その取り組みを尊重しながら小川町では負担金で支援しているとのことだが、負担金以外で隣接する自治体から小川町に対して検討してほしいことが挙げられているのか。また、パークヒル路線は、県の補助が終了した後に、どのように対応する予定なのか。 アンケート結果の数字だけ町民に提示しても次につながらない。次に何が検討されていくのかを提示し、還元することが必要と考える。

発言者	発言の要旨
事務局	東秩父路線やときがわ路線を検討する中で、負担金以外の要望は挙がっていないが、隣接する自治体の公共交通担当者間で情報共有し、相互で周知を図ろうと取り組んでいる。 パークヒル路線は、平成３２年度で県の補助が終了するが、継続して事業展開できるのか等を県と協議させてもらいたいと考えている。 アンケート結果については、実施しただけでは意味がないため、結果を地元の方々に報告する方向で進めている。アンケート調査票では、団地の人口動向やバス利用者数の推移等を掲載したが、これまで地元の方々は目にする機会がなかったと思う。
山口（勝）委員	分科会の中で、何故みどりが丘だけアンケート調査を実施するのかという意見が出た。個人ではなく、自治会として路線バスを守りたいという思いがあるので、そこで得られた成果が他地域にも展開する形にできるという捉え方で良いか。
事務局	ご意見の通りである。さきほど具体的取り組みイメージを説明したが、あくまで例示であり、経営等との兼ね合いで実現が困難なものもある。アンケート後に何が展開されていくか示す必要があるとのご意見をいただいたが、よく精査した上で示す必要があると考えている。
山口（勝）委員	出来ないことも含めて町民は知りたいと思っており、出来ないことを伏せてしまう点が不満の中心になってしまうことがある。水面下で精査されてしまうことは、協議会・分科会として良い方向ではないと思う。
尾崎会長	熊谷路線は、沿線自治体と維持存続に向けて調整しているとのことだが、進めて問題ないか。 ⇒全委員了承
事務局	継続して３自治体での協議を進めていきたい。どのような要綱を制定するのか等の事務レベルの協議になってくるため、内容は行政に一任いただきたい。また、具体的な支援額等は事業者の経営に関連するため、説明は控えたい。
内田委員	自治体との協議は是非進めてもらいたいが、事務レベルの協議だけではなく、連携協議会などを立ち上げてもらいたい。高い意識を持って進めてもらった方が、取り組みがスムーズに進むと考える。
尾崎会長	他自治体の意向もあるため、組織の立ち上げ等も含めて事務局には協議を進めていただきたい。
事務局	組織の立ち上げ等については今後検討したい。実情としては、前回の協議会後に八和田地

発言者	発言の要旨
	域の区長の皆さんに集まっていただき、実態について意見を聞いたり、関係自治体との連絡調整を図ったり、各方面との調整を駆け足で進めてきたため、組織立ち上げは出来なかった。単年ではなく長期で維持することが大前提となるため、そういった面も含めて検討していきたい。
	(2) デマンドタクシーの利用状況報告
山口（勝）委員	課題の１つであった路線バスへの影響について、何らかの把握しているものがあればお聞きしたい。
事務局	路線バスへの影響について正式に把握できているデータ等はない状況である。
山口（勝）委員	路線バスの維持・充実に向けた検討が開始されているため、デマンドタクシーの影響についても事業者と丁寧に確認し合っていただきたい。
尾崎会長	事務局の提案のとおり、鍼灸治療院を乗降ポイントに追加して問題ないか。 ⇒全委員了承
尾崎会長	来年度は必要に応じて見直しする段階に入るが、今回は現時点での状況報告を受けたということで終わりたい。
	(3) その他
小熊委員	昨年度に路線バスの状況が非常に厳しいと発言させていただいてから、様々な取り組みを迅速に実施してもらい感謝している。燃料費も高騰しており、状況が厳しいことは変わっていないが、路線バス維持に向けて一体となって取り組んでいきたい。また、イベント等にも積極的に参加しながら維持を図っていきたいと考えている。 以　上